

令和8年度 園経営計画 足立区立西保木間保育園

園長 守屋 久美子

1 園の経営目標

- (1) 子ども一人一人の個性を大切にし、自分に自信がもてる子どもを育てる。
- (2) 保護者の思いに耳を傾け、子育てが楽しいと感じられるよう、共に歩む。
- (3) 地域との関わりを大切にして、近隣施設との連携や家庭支援を行う。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは広い園庭で異年齢の関わりをもちながら遊ぶ姿が多く見られ、憧れや思いやりの気持ちが育っている。
- (2) 豊かな園庭環境のもと、身近な草花や生き物と関わったり、体を動かして遊んだりしている。
- (3) 地域自治会との積極的な交流により、子どもの生活がより豊かなものになっている。近隣の就学前施設や小学校との交流活動を多く実施し、就学にむけて円滑な接続が行われている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	夢中になって遊ぶ環境の中で、豊かな感性や表現する力を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 「やってみたい」と心を動かす環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ア 子どもの面白い、不思議などの気付きに共感し、試行錯誤できる教材を準備する。 イ 自分で遊びを選べる遊具の設定や表示を工夫する。
(2) 子どもが絵本や物語に親しみ、読む楽しさや想像したり、表現したりする面白さを感じられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ア 子どもたちが興味をもてる季節ごとの絵本の選定やレイアウトの工夫をする。 イ 園内研修を月1回実施し、絵本や物語から広がる子どもの姿、対話からも遊びの環境を作る。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子ども一人一人の多様性を尊重した保育を進める。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもたちの個性と人権を尊重した関わりを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ア 園内外の研修で、外国籍の子どもや支援を要する子どもたちが、互いに育ち合える支援方法を学び、保育力の向上につなげる。
(2) 職員間で全園児の姿を共有し、子どものありのままの姿を認め、受け止める。	<ul style="list-style-type: none"> ア 保育者が子ども一人一人の個性を認め、子どもの気持ちを肯定的に受け止めることで、子ども自身が大切にされていると感じられる保育を実践する。 イ 全職員で一人一人の子どもに対する配慮などの必要性を共通理解する。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	保育者の資質の向上を図る。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 日々の保育を振り返り、子ども理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ア 全職員が毎月「保育の質ガイドライン」を用いた人権や保育内容の振り返りを行い、保育者の意識向上を図る。 イ 職員会議や園内研修で子どもの情報やエピソードを伝え合い、全園児の姿の共通理解をする。
(2) 全職員で子どもの姿を共有しながら保育を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ア 会計年度任用職員も含めたクラス会議を月1回以上実施し、全職員の連携を密にする。